

令和3年秋の先行販売へ向け サキホコレの稲刈りが始まりました！



サキホコレの発売日が決定しました！

秋田米新品種「サキホコレ」の先行販売が、**令和3年11月6日(土)**に決定しました！

発売日：令和3年11月6日(土) ※全国一斉発売

販売期間：発売日から令和4年1月末までを予定

販売店：秋田県内外の米穀専門店、百貨店、スーパー等
※販売店は10月中旬に秋田米ウェブサイト「ごはんのふるさと秋田へ」内に掲載予定

販売量：400トン（県内100トン、県外300トン）を予定

●サキホコレの刈り取りが始まりました！

来年秋の本格デビューを前に、今年秋に先行販売される秋田県の新ブランド米「サキホコレ」の稲刈りが始まりました。管内では12名の農家が6.7㍏の面積でサキホコレを栽培しています。

9月28日には、仁賀保地区でサキホコレの刈り取りが行われ、鳥海山を背景に順調に稲刈り作業が進んでいました。

●サキホコレの初検査！



10月1日、本荘地区の12号倉庫でサキホコレの初検査が行われました。約6トンのサキホコレをJAの検査員が目視や機械を使って分析し、整粒、水分、着色等の品質を検査。結果、全量一等米に格付けされました。

検査したJA米穀課の村上和幸さんは「粒のハリが良く、整粒歩合も高い良い米に仕上がっている。消費者に自信を持ってオススメできる品種なので、ぜひ味わってほしい」と話しました。

●サキホコレのこだわりポイント！

①作付地域を限定

「サキホコレ」は成熟期が遅い晩生種であることから、その優れた外観・食味などの品種特性を安定的に発揮できるよう、気象条件などにより選定した「作付推奨地域」に作付けを限定しています。

②品質・出荷基準を設定

おいしく、高品質なお米だけをお届けするため、次の品質・出荷基準を設定しています。

- ・玄米タンパク質含有率 6.4%以下
- ・農産物検査等級 1等または2等
- ・玄米水分含有率 14.0%以上15.0%以下

③生産者を限定

高品質・良食味なお米の生産実績があるなど、一定の要件をクリアした「生産者」と、品質・出荷基準のチェック体制が整った「集荷業者」が組織する「生産団体」が生産を担います。

JAでは「JA秋田しんせいサキホコレ栽培研究会」が生産団体となります。

④安全・安心の栽培方法

安全・安心や環境に配慮し、農薬の使用を半減した栽培（延べ使用成分回数*20成分回数→10成分回数以下）を標準とします。

※使用した農薬に含まれる有効成分の延べ使用回数